

## 令和4年度 学校運営協議会 第1回議事録

校名	府立生野聴覚支援学校
校長名	田口 登志子

開催日時	令和4年6月30日(木)10:30～
開催場所	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室
出席者(委員)	吉田委員 小椋委員 中尾委員 牧野委員 正木委員
出席者(学校)	田口校長、永田教頭、錦織、佐加首席、佐藤首席、井端首席(部主事)、中道部主事、前田部主事
傍聴者	0名
協議資料	令和4年度 学校経営計画及び学校評価他
備考	

議題等(次第順)	<p>1. 学校長あいさつ</p> <p>2. 令和4年度委員、事務局員紹介 (資料1)</p> <p>3. 令和4年度 学校運営協議会 実施要項について(資料2.3)</p> <p>4. 会長、副会長について(資料2)</p> <p>5. 今年度の学校経営計画について(資料5)</p> <p>6. その他 ○令和5年度使用教科用図書選定について(資料6) ○今年度の予定 第2回 11月17日(木)10:30～12:00 第3回 2月21日(火)10:30～12:00</p>
----------	--

協議内容・承認事項等(意見の概要)	<p>3. 令和4年度学校運営協議会実施要項について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要項の確認と過半数の出席に伴い会議の成立について承認された。</li> <li>・学校運営協議会議事録への名前の掲載について承認された。</li> </ul> <p>4. 会長、副会長について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長に吉田委員を、副会長に田中委員を選出した。</li> </ul> <p>5. 今年度の学校経営計画について (意見交換)</p> <p>○昨年度もお伝えしているが、防災面において、警報によって区役所には本部が設置されるため、何かあれば遠慮なく直通連絡をいただきたい。また、防犯に関しても、要請があれば強化パトロールを行うので、遠慮なく直通連絡をお願いしたい。</p> <p>・パトロールの頻度はどれくらいか？通学路に工事が多く、安全な登校のために、PTAで通学路の旗持ちを2回行い強化しているが、下校時間や雨の日など、まだまだ安心とは言えず、通学路のパトロールについても気に留めてほしい。</p> <p>→基本は要請を受けてからとなるが、このお話に関し、関係部署と連携を取り共有していきたいと思っている。</p> <p>○ホームページのシステム改修とあるが、どのようなことをしていくのか？</p> <p>→さらに見やすくしていくために改善していくとともに、まずは更新できるものから更新していく。</p> <p>・ホームページは、学校を知るのに一番の情報発信の材料となるため、作業等大変かと思うが、より見やすいよう工夫をする、そして更新が必要なものは定期的に更新することを重ねてお願いしたい。</p> <p>○内部進学率について教えてほしい。</p> <p>→学校全体としてはおおよそ4割が地域、6割が内部進学と捉えていただけるとよい。子どもたちの全体数は昨年度に比べ6人減となっている。</p> <p>・以前は幼稚部だけで100人近くいるなど子どもたちの数が多かった。しかし、全国的に聴覚支援学校に通う子どもたちの数が減少してきており、その減少してきていることに対し、どうするかが大切であると考えている。</p> <p>○昨年度は専門性を継承していくためのWTを作り会議を行ったとあり、それを受け今年度は具体的にどのようなことを行うのか？また研究授業の数の違いは、今年度コロナがすこし落ち着いたことから授業改善により積極的になったと考えればいいのか？</p> <p>→小学部では、部研修として「助詞力を高める」ための教材づくりを年間を通して行う予定である。研究授業は、初任者やインターメディアイト(2～4年め教員)を中心に行うことになっている。</p> <p>・各学部ごとだけでなく、学部間連携もふまえ、全体で専門性を向上していけるよう研修を行うこととしている。</p> <p>・研究授業の数が増えたことに関してはそのように考えていただきたいと思う。</p> <p>○センター的機能について</p> <p>→支援部と連携し、昨年度以上に支援体制の充実に努めている。</p> <p>○働き方改革について</p> <p>・先生方のゆとりができる会議構成を考えなければならないが、教職員が遅くまで残らなければいけない背景を考える必要がある。</p> <p>全体を通して (委員より)現在は共働き世帯も多くなり、聴覚支援学校のあり方が変わってきたように感じる。人工内耳が普及し、子どもによってはよく活用できるケースもあるが、聴覚支援学校で学ぶ本質はそこではなく、「もっと親が子どもを見る機会をもつこと」ではないか。早期、幼少期の聴覚支援教育の大切さを今一度訴えたい。 (学校より)コロナ禍でつながることが難しくなり、もう一度「つながる」ことを考えていきたい。保健センターなど気づくだけでなく、つながるところまでを依頼することになっている。地域の保健師とつながること、保育士や幼稚園にも、とにかくつながること。早期ではホームページの更新からつながりが見られ成果も上がっている。</p> <p>(議長より) 聴覚支援学校としてアピールをする必要性を感じる。教育相談などもっと気楽にできるような工夫を。困っている子どもたち、保護者は今も変わらずたくさんいることを忘れないでほしい。昨年度をふまえ、あいさつ運動は全員で。交流については交流したいという気持ちには、引き続き丁寧な聴き取り、取り組んでほしい。本日いただいた多くの意見をふまえ、それぞれで取り組んでいただきたい。また、委員のみなさんを中心にホームページを定期的に見ておいてください。生野聴覚のPRがそこに現れると思う。</p> <p>6.その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度使用教科用図書選定について承認された。</li> <li>・今年度の予定について 第2回 令和4年11月17日(木)10:30～12:00 第3回 令和5年2月21日(火)10:30～12:00</li> </ul>
-------------------	--

次回の会議日程	
日時	令和4年11月17日(木)10:30～12:00
会場	府立生野聴覚支援学校 1階 大会議室